



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げ、堤防をつくり、
流せる水の量を増やします

地元の声

- ・台風時は、田畑が浸水し稲作被害が発生している。堤防を造ってほしい。（地元住民）
- ・河川沿いの土砂が大雨のたびに流される。早く改修してほしい。（地元住民）

事業前

◆大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



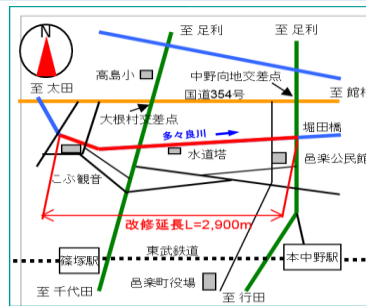
事業後

◆川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

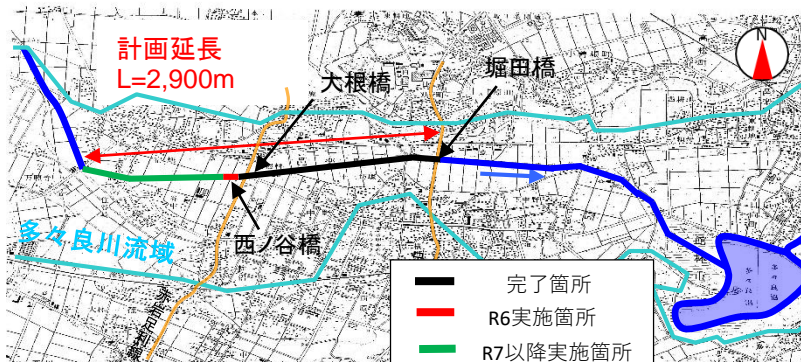


事業の概要

- 事業箇所：邑楽町中野～石打
- 事業内容：河道拡幅 築堤 延長 2,900m
- 事業期間：平成13年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、西ノ谷橋上下流（左右岸）の護岸工事を実施します。



事業のすすみ具合

